

漫才コンテスト M1 グランプリ 2015 の決勝戦 (12月6日開催) の上位3組を正確に予測

M1 グランプリ 2015 決勝戦進出の8組が、3回戦と準々決勝で披露した際の動画データを解析し、ビッグデータの手法を使って決勝戦の順位を予測しました。その結果、上位3組(銀シャリ、ジャルジャル、タイムマシーン3号)の順位を当てることに成功しました。また、8組全ての順位の予測精度は0.69(順位相関係数)で、高い精度だと言えます。なお、敗者復活組(トレンディエンジェル)については、コンテストの開催直前まで不明だったことから、今回の予測対象に入っていません。

予測には、漫才(ネタ)の内容の意味を扱わずに、しゃべる速さや観客を笑わせる要素の配置等の6種類の客観的に測れる値だけを使用しました。予測するモデルを作るために、過去に10回開催されたM1 グランプリ(2001年~2010年)のデータを解析し、ニューラルネットワークを学習させました。学習には、ディープラーニングを用いました。

提案手法の精度は、第1回から第10回 M1 グランプリを対象として事前に検証しました。その結果、決勝戦の順位の平均予測精度は(順位相関係数)は0.60、最終決戦の1位の平均予測精度は0.68であり、提案指標の有効性を示す結果が得られています。

これまでに、漫才コンテストの順位を予測できる手法はありませんでした。これは本研究が初めてです。

研究が進めば、会話の面白さや演説の評価、ロボットによる面白い会話の自動生成等への応用が考えられます。

研究者：真栄城哲也

筑波大学 知的コミュニティ基盤研究センター 図書館情報メディア系

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 Tel: 029-859-1531 email: maeshiro@slis.tsukuba.ac.jp